

【A】常食



図3 常食



臨床のコツ

- 身体の状態に合わせたエネルギーや栄養素の設定にしましょう。
- 常食を食べられる嚥下機能ではありますが、安全な食事姿勢で食べましょう。

※姿勢については、食事姿勢フローチャート（P.7）を参照して下さい。

【B】嚥下調整食4

嚥下調整食4は、調理により十分に軟化加工されています。軽度の咀嚼動作を要しますが、嚥下時の安全性は保たれます。そのため、嚥下機能が安定し、軽度の咀嚼機能が残存する症例に適応し、ペースト食から常食への移行を支援します。



写真1 嚥下調整食4



臨床のコツ

- とろみをしっかりと食物と混ぜましょう。
- しっかりと飲み込んでいるか、飲み込んだ後に口の中を確認しましょう。
- 時間の経過とともにむせや口の中の食物が増えていないか確認しましょう。